



国際ロータリー第2530地区 2014-15年度

福島ロータリークラブ會報

第4号

例会日/2014年7月24日(木) 開会点鐘/12:30
会場/ホテル[辰巳屋]8F

和の心で
日々燭を掲げよう

Rotary



本日の
プログラム

丹治 正博 会長スピーチ

<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30

【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

例会次第

- 開会点鐘 丹治正博 会長
- ロータリーソング「我等の生業」
ソングリーダー 菅野 晋 会員
- 「四つのテスト」唱和 菅沼 裕 会員
- お客さま並びに来訪ロータリアン紹介
- 新会員入会式
- 表彰伝達
- 会長あいさつ 丹治正博 会長
- 「職業奉仕と四つのテストについて」
阿久津肇 PG
- 食 事
- 幹事報告 坪井大雄 幹事
- 各委員会報告
- プログラム・ニコニコBOX小委員会
ニコニコBOX担当 今井 康 委員
- 本日のプログラム
- 閉会点鐘 丹治正博 会長



あいさつ

二〇一四—一五年度会長 丹治 正博

連日、暑い日が続いておりますが、間もなく『土用の丑の日』が参りますね。うな重やうな丼を食べてスタミナをつけねばとソワソワされる頃でしょう。今年は七月二十九日が『土用の丑の日』です。皆さんの話題は鰻を食べることが中心になると思いますが、今日は、『土用の丑の日』についてお話ししてみようと思います。

まず『土用』と『丑の日』にわけて考えてみますと、『土用』は年に四回あり、季節の変わり目の立春、立夏、立秋、立冬の前十八日間を指します。『土用』の成り立ちですが、古く中国から伝わった陰陽五行説では、

この世のすべては木・火・土・金・水の五つの事象に分類されます。この思想では春は「木気」、夏は「火気」、秋は「金気」、冬は「水気」に割り当てられます。しかしこのままでは「土」(土気)がどこにも当てはまらないので、季節の変わり目である立春や立夏の直前十八日間を「土気」として割り当て、「土用」と呼ぶようになりました。『土用』には土いじりをしてはいけないというタブーがあります。これには土木工事を始め、穴掘り、庭いじり、木の伐採、壁塗り、お葬式の納骨、農作業まで含まれます。これは『土用』は土の気(土の力)を司る土公神さまの力が高まる日であり、この期間に土を犯すと様々な祟りがあると信じられてきたからです。

ただし、『土用』の期間は約十八日間と長いものですから、この間ずっと土いじりは駄目というのでは社会生活上支障がでますので、「間日」(まび)と呼ばれる日が設定されています。これは「土公神さまが文殊菩薩に招かれて出かけるから土いじりをしてもいい」とされている日です。この「間日」に工事を始めたりすれば障りがないとされており、暦で調べることが出来ます。この『土用』のタブーの言い伝えには、そもそも

も『土用』は季節の変わり目で体調を崩しやすいために、無理をしないで農作業などを休ませようという意味があり、かといって約十八日間も休むわけにはいかないので、「間日」というものが考え出されたわけです。

次に『丑の日』ですが、暦には毎日十二支が割りあてられ、『丑の日』も十二日に一度めぐってきます。そして立春・立夏・立秋・立冬直前の十八日間である『土用』の期間中、十二日に一度めぐってくる『丑の日』が『土用の丑の日』です。つまり夏だけではなく、春秋冬にもそれぞれ『土用の丑の日』があるわけです。また、年によつては土用期間中に二度丑の日がめぐってくることもあります。では、なぜこの日に鰻を食べる習慣があるのでしょうか。諸説いろいろあるようですが、一般的に有名な説は「平賀源内説」です。鰻屋から相談を受けた平賀源内が「本日土用丑の日」という広告をつくったところ、鰻屋が大繁盛したことから、夏の『土用の丑の日』には鰻を食べるといふ風習が生まれたとされています。暑い夏を乗り切るために、栄養価の高い鰻を食べる精力をつける意味もあったのでしょうか。

暦は昔から日本人にとって生活や仕事の基準でありました。現代人には非科学的で迷信かも知れませんが、昔の人々にとつては、それなりの意義が有ったのでしようし、現代の私たちの生活の中にもいまだに生きているのですから、自分の生活、行動の参考にしながら上手につきあつてほしいものです。



会長スピーチ 丹治 正博 会長

私の年度方針

本日の会長スピーチでは、私の年度の会長方針についてお話を申し上げたいと思います。

世界のロータリアンがまず注目しなければならないものは、その年度のRI会長のテーマであります。今年度のRI会長ガイリー C.K. ホァン氏(台湾)は「Light Up Rotary」(ロータリーに輝きを)を掲げておられます。このテーマはロータリー設立の約2400年前を生きた中国の思想家、孔子の言葉を引用されたものです。ホァン会長は、孔子を「世界で最初のロータリアン」と述べ、孔子の教えに心を動かされたホァン会長は、2014-15年度のテーマを「ロータリーに輝きを」(Light Up Rotary)とすることを発表しました。孔子の言葉とは「ただ座って暗闇を呪うよりも、ロウソクを灯したほうがいい」でした。

ホァン会長は演説の中でこのテーマについて次のように述べておられます。

「世界には問題が山積みとなっており、大勢の人が助けを必要としています。しかし、「自分にできることはない」と言って、何もせずにただ座っている人が大勢います。これでは、何もかも暗闇のままです」そして次のように続けました。「ロータリーの考え方は、孔子と同じです。ロウソクを灯するのがロータリーです。私が一本、あなたが一本。こうして、120万人の会員全員がロウソクを灯します。力を合わせれば、世界を光で輝かせることができるのです」

ホァン会長は、今年度にそれぞれの地域社会で「ロータリーデー」を実施したり、地元ローターアクトやインターアクトのメンバーと一緒に奉仕プロジェクトを実施することによって、クラブが「ロータリーに輝き」をもたらすよう呼びかけています。続けてこのように述べておられます。

「ロータリーをどう輝かせるか、ご自分のロウソクをどう灯すかは、皆さん次第です。自分が何を得意とするかは、ご自身がよくご存じのはずです。地元地域社会が何を必要としているか、どう支援できるかは、皆さんご自身のほうがお分かりになるでしょう」と述べ、ロータリアンが地元地域の人々の模範となり、会員基盤を成長させることによって、ロータリーを今までよりも輝かせることができると、ホァン会長は願っています。

『ロータリーに輝きを』、これが今年度のRI会長テーマですが、これを受けて、私の年度の方針としましたのが「和の心で日々燭(しょく)を掲げよう」であります。

私は常々、日本人は自らの文化を見つめ直し、日本人の誇りと品格を取り戻さねば、この混沌とした社会は決して

良くならないと感じております。ロータリーはアメリカで誕生しましたが、今やグローバル化が進み、地域に応じたロータリー活動、日本には日本のロータリー活動があるべきと考えます。

私がロータリーに入ってから学んだ拙い知識の中で強く心に残っておりますのは、ポールハリスがロータリーを作ったのは「ただ寂しかったから」との言い伝えであります。人間は一人では生きていけません。家族があつて、そして良い人に巡り会うこと、苦勞を買ってでもすることで人間は成長します。RI会長のテーマを受けて、私は「和」の心(日本人の心、和を尊ぶ心)をもって、クラブの中で寂しい思いをしている会員はいないか、家庭で、自分の職場で、そして社会において自らの職業を通じて燭を掲げる(暗いところを照らして、辺りを輝かせる)存在となること、「和の心で日々燭を掲げよう」を私の年度の会長テーマと致しました。このテーマのもと、以下の2点を私の重点目標と致します。

- 例会は、会員が交流する場、知的刺激を得る場、そしてロータリーの基礎知識を身につける場として秩序ある例会を開催する。
- 地区を代表するクラブとの自覚のもと、品格あるクラブを目指す。

次に、クラブ運営にあたっての私の考え方の主な点を申し上げます。

- ★委員会構成について…原則、一人一委員会、但し新入・若手会員は親睦委員など複数委員会を兼ねる。
- ★委員会の開催について…委員会はなるべく合同で開催し、会員相互の懇親を図るために懇親会も合同で行うことを推奨する。幹事を中心に委員会間の連絡を密にする。
- ★幹事・副幹事の任務…幹事報告の内容について、折々のロータリーの情報や、1年間の計画のもとにロータリアンとして知っておくべき豆知識などを伝える。副幹事の任務については、従来あいまいな位置づけであったが、幹事を補佐する立場として、また幹事の経験を積んでもらう意味でも仕事を分担する。
- ★会場監督(SAA)の任務…例会運営の規律を正すために、SAA本来の任務を明確化し、例会開始を宣することを始め、席次の流動化促進、バッジ佩用のチェック、更には各テーブルの新入会員に対してまわりの会員に声かけを促すことなどを心掛けて頂きたい。
- ★ソングリーダーの任務…ロータリーソング歌唱時の声が小さく、口パクの方が多いのが現状であることから、ソングリーダーは2人1組となり、指揮以外の者はマイクをとって歌唱を先導すること、誕生祝いの歌を生オケで先導することなどを検討して頂きたい。肉声は上手下手に関わり無く人を惹きつけ、和ませるものだから。
- ★クラブ奉仕委員会
- ★会員選考・増強・職業分類・出席小委員会…純増5名(85名)を目標に掲げる。会員増強の意識を全会員に持たせるために、毎回の例会時に会員現在数を発表する。出席

率の向上を図るための方策を検討すること。

- ★ロータリー情報・クラブ会報・資料小委員会…クラブ会報を一部縦書きにするなど和風の体裁を取り入れる。
- ★広報マルチメディア雑誌小委員会…クラブHPの速やかな更新と「ロータリーの友」の発表の充実を図る。ロータリー活動のマスコミへの積極的な発信。
- ★親睦ロータリー家族小委員会…夜間例会の内容をバラエティ豊かなものにする。単身会員用に「私の隠れ家」と称する地元会員行きつけの店をアンケート調査して小冊子にまとめる。敬老の日に80歳以上の会員の御祝いを行う。東京交歓会は金曜日開催を検討するほか、和のテイストで企画したい。
- ★プログラム・ニコニコBOX小委員会…プログラム編成にあたり、ゲストスピーチを増やす。ニコニコBOXについては、本来の意味、相応しいメッセージの例などを絶えずアナウンスするとともに、発表順番はロータリー歴の浅い会員を先とし、例会で発言機会の多い会長、幹事は発表しない。
- ★職業奉仕委員会…「四つのテスト」を毎例会時に唱和する。職場訪問例会／福島競馬場・ヤクルト本社福島工場を予定。
- ★社会奉仕委員会…長期事業として、陽の当たらない社会の弱者支援に重点を置く。授産施設との連携、パンダ

ハウスへの支援、いのちの電話への支援に加えて、今年度の地区復興補助金対象事業に認定された「福島の子どもと家族のこころのメンタルヘルスケア」事業への支援(巡回相談用車両の寄贈など)に重点を置く。

- ★青少年奉仕委員会…IAC、RAC活動の活性化を図る。「第27回全国ロータリーアクト研修会」福島大会(平成27年3月21日(土)郡山市・ビッグパレットふくしま)への協力
- ★国際奉仕委員会…双子クラブ(フィリピンマリキナRC)との交流を深化させる。
- ★米山記念奨学会委員会…年間普通寄付金1人5千円、特別寄付金1人1万円の達成、米山理解のためのDVD上映
- ★ロータリー財団委員会…年次寄付年間1人150ドルの達成とDDFの効果的な活用の検討
- ★戦略計画委員会…三つの優先項目…①クラブのサポートと強化、②人道的奉仕の重点化と増加、③公共イメージと認知度の向上、中長期に亘る継続的事業の検討、リーダーの育成
- ★その他…同好会・教養講座の開催奨励…「競馬を楽しむロータリアンの会」「TENの会」「囲碁クラブ」
- ★年次計画書の作成…7月末の完成を目指す。
- ★誕生日記念品…伊勢神宮御造管用心材(檜)で作った文鎮と朱印帳袋

四つのテストからみた職業奉仕

阿久津 肇 パストガバナー



「四つのテスト」 The Four-Way Test

言行はこれに照らしてから Of the things we think, say or do
私たちの考え、言葉、行いがこれに合っているか

1) 真実かどうか Is it the TRUTH?

Truthは、広辞苑で嘘偽りでない。「嘘偽りがないか」…商取引において、商品の品質、納期、契約条件、広告などに虚偽がないか、はビジネスの根幹を為すもの。

2) みんなに公平か Is it FAIR to all concerned?

Fairはもともと「美しい」という意味があるが、普通「公正」「公平」と訳されているが、公正が妥当とされている。to all concerned についてはallだけが取り上げられ、concernedが省略されている。concernedは関わりのある人、関係する人で「全て取引先にたいして公正かどうか」

3) 好意と友情を深めるか

Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?

Goodwillは、「好意」とか「善意」あるいは「友好」といった意味の他に、商売上の「信用」とか「評判」を表わすと共に、店の「のれん」や「取引先」を表わす。

「商取引が店の信用を高めると同時に、より良い人間関係を築き取引先を増やすかどうか」

4) みんなのためになるか どうか

Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

Benefitは「儲け」そのものを表わす言葉。商取引において適正な利潤を追求することは当然なことであり、決して

恥ずべきことではない。ただし、売り手だけが儲かった、また買い手だけが儲かったのでは公正な取引とは言えない。「その商取引によって全ての取引先が適正な利潤を得るかどうか」

参考資料；ハーバート・テラー「我が自叙伝」菅野多利雄訳

田中 毅「ロータリー源流」／深川純一「ロータリー学入門」

「四つのテスト」の原文は勿論英語ですが(ロータリー手帳参照)、僅か24文字で成り立っています。それについて日本語訳(本田親男氏)も短く、簡明な記述になっていますので、その真意を理解しなければなりません。

例えば、「4) みんなのためになるかどうか」と訳されていますが、漠然としていて少し戸惑いを感じます。「みんなのために」とは何を指しているのでしょうか。原文ではBeneficial to all concernedとあります。Beneficialは「利益、儲け」で、to all concernedは全ての関係する人に、つまり取引先でありますので、この取引で「全ての取引先が利益を得られるかどうか」となります。これならよく理解出来ると思います。日本文だけで理解していると本来の意味からかけ離れた解釈になってしまいます。

作者のハーバートJ.テラーは、**ビジネスの基本方針を示すために「四つのテスト」を考案**したので、そのことを念頭において読み解けば理解出来ると思います。なお、唱和するときに、順番を間違わないよう、(し)(み)(こ)(み)と覚えていれば良いでしょう。

どうぞ後でレジュメをお読みいただき「職業奉仕」、「四つのテスト」をご理解下さい。

※資料より一部抜粋し掲載させていただきました。

私のひとこと

田沼紀美子 会員



ありました。
茶の湯を習い始めた時に、先生より「茶室の中で話題にしてはいけない事があります」と教えていただいたのは「我仏、隣の宝、婿姑、天下の戦、人の良し悪し」。
これは、茶室の中だけの事ではなく、人と人とお付き合いする上でも、円滑になるのではないのでしょうか。とても重要な

「和の心」とは、
と考えており
ましたら、ふと
浮かんだ事が

事と思います。
人に感謝し、思いやりを持つて接する。これも「和の心」のひとつと考えます。
また、「嬉しい、楽しい、幸せ、愛している、大好き、ありがとう、ついでに」これを祝福神というふうですが、このような言葉を使うことにより、自分も他の人も明るく楽しく、幸せになる、とてもステキな言葉だと思えます。
なにより、笑って愉快地に生活できたら、健康にも良いことではないのでしょうか。

来訪ロータリアン紹介



くれたけ ひろよし
呉竹 弘吉 様
(福島中央RC)

幹事報告

例会変更のお知らせ

●福島西RC、8月4日(月)の例会は3日(日)に変更し、午前6時よりJR西口駅周辺清掃とし、7時より早朝例会となりますのでお知らせ致します。

その他のお知らせ

- 今年度上半期の会費納入のご案内をしております。
- 8月2日(土) ウィル福島(福島卸商団地内)にて開催されます地区財団委員会セミナーに、安藤健次郎委員長と坪井幹事の2名が出席してまいります。
- ロータリーの友事務所より『ロータリーの友』電子版のご案内がきております。2014年7月号から12月号まで、従来通り「ID / rotary、パスワード / rotary」を入力しご覧くださいますようお願い致します。尚、2015年1月号からの閲覧方法は再度連絡があるようです。

ニコニコBOX報告

〈報告〉今井 康 委員

本日のニコニコBOX投入額 30件 ¥60,000 累計 ¥332,000

他、丹治会長のスピーチと佐藤朋幸会員入会へのメッセージでご投入頂きました。
安藤健次郎 / 今井康 / 岩田尚志 / 岩山知弘 / 浦部博 / 加藤義朋 / 菅野晴隆 / 古俣猛 / 佐藤武彦 / 佐藤英典 / 志村光昭 / 茂田士郎 / 白岩康夫 / 菅沼裕 / 高橋聡 / 田苗博 / 丹治正博 / 坪井大雄 / 幡研一 / 箱岩 偉 / 牧野吉晃 / 三宅 喬 / 森洋一 / 八子英器 / 八巻恵一 / 渡部世一 / 渡邊又夫

新 | 会 | 員 | 入 | 会 | 式



(株)アビリティ代表取締役社長
さとう ともゆき
佐藤 朋幸 様
…紹介 / 菅野晴隆会員

生年月日 / 昭和42年5月2日
職業分類 / 学習塾経営 家族構成 / 妻、子ども3人
趣味 / ゴルフ、スポーツ観戦
活動歴 / 幼児から高校生ままでを対象とした総合学習塾の運営により教育活動を熱心に行うとともに、青年会議所、商工会議所青年部、テニスのインストラクター等の活動を通じて青少年の健全育成及び地域社会への貢献に取り組んで参りました。



*紹介者の菅野晴隆会員には、新会員カウンセラー委嘱状をお渡ししました。

表彰・伝達



●米山功労者伝達

白岩 康夫会員へ 功労者第7回 マルチプル
渡邊 又夫会員へ 功労者第2回 マルチプル

例会プログラムのご案内

- 8月7日(木) 18:30~「辰巳屋」
「納涼夜間例会」 *「四つのテスト」唱和
- 8月14日(木) 理事会承認休会
- 8月21日(木) 12:30~「辰巳屋」
会員スピーチ 田苗 博 会員
*8月誕生祝い *「四つのテスト」唱和
*プログラム案内 *「友」紹介 *血圧測定
- 8月28日(木) 12:30~「辰巳屋」
地区セミナー・行事報告
古俣 猛 会員(会員増強セミナー)
坪井大雄 会員(IAC地区年次大会)
*「四つのテスト」唱和

○佐藤朋幸新会員

本日、初めて歴史と伝統ある福島ロータリークラブ例会に出席させて頂くという機会、大変嬉しく光栄なことであります。

○呉竹弘吉様

(福島中央RC)

本日メールさせて頂いたきます。

○後藤忠久 会員

丹治会長のスピーチを楽しみにしております。今年の夏まつりは八月一日、二日が「わらじ祭り」八月九日が「花火大会」になります。是非お楽しみください。